

ATACの内容

本会は長年の経験により独自の技術とノウハウを有する技術者・管理者を結集し、お互いの知恵を出しあい、学習しあい、ネットワークを活用するとともに、中堅・中小企業が抱える国際化、技術開発、人材育成等の諸問題の解決を支援することにより中堅・中小企業の発展に資することを目的とする。
～ATAC規約第2条より～

ATACは上記の目的に則り、これまで15年にわたり中堅・中小企業の発展のために数々の活動を推進してきました。その主なものを挙げますと

1. コンサルティング

ATAC活動の大部分を占める業務で中堅・中小企業の抱えるさまざまなテーマについて450件以上のコンサルティング業務に携わってきました。

2. セミナー開催・講師派遣

ATACは従業員教育、経営管理、ISO関連、品質管理などのセミナーを企画・実施し好評を博しています。また、講演会・研修会などへの講師派遣も行っています。

3. 書籍刊行

中堅・中小企業の発展に役立つため、これまでに刊行した書籍は下記の通りです。

- ・ATACの経営便利帳
- ・現場の課題解決はこうする(中堅・中小企業の業務改善事例)
- ・中堅・中小企業へのATAC提言集
 - ①新商品開発のヒント ②ISO9000認証取得の手引き
 - ③ISO14001認証取得の手引き ④中小企業のためのIT
 - ⑤材料選択の手引き ⑥設計を考える
- ・目からウロコのアドバイス ～中小企業経営者への提言～

4. NASCA(産学連携のお手伝い)

企業の技術ニーズをお預かりして、最適な技術シーズを持つ大学や研究機関などを探し、ご紹介する業務です。

5. 公的支援情報送信サービス

ご希望の企業に、国や府県等による研究開発補助金等の公的支援募集情報をタイムリーに分かりやすくe-mailやFAXで無料配信する業務です。

新たに公的支援情報送信サービスをご希望の企業の方は下記の申込書にご記入の上、FAX (06-6443-5319) でお申し込みください。

公的支援情報送信サービス新規申込書

企業名
所在地
担当者
TEL
FAX
E-mail
公的支援情報送信先(どちらかに✓してください)
<input type="checkbox"/> FAX / <input type="checkbox"/> E-mail

書評

「ものづくり経営学 —製造業を超える生産思想—」

東京大学21世紀COEものづくり経営研究センター

藤本隆宏著 (2007年3月光文社新書刊) ¥1,200+税

以前この欄でご紹介した「能力構築競争」(ATACニュースVol.5)「日本のものづくり哲学」(ATACニュースVol.10)など同一著者のものであり、著者の持論であるものづくりを「擦り合わせ型」(インテグラル)と「組み合わせ型」(モジュラー)とに分けるアーキテクチャ(設計思想)に基づいている。日本のものづくりの強さは、自動車やデジタル家電に代表されるように、開発・設計段階から部品造りまで、それぞれの工程がお互いに相談して製品をつくり込んでいく「擦り合わせ型」が基本思想にあるが、本書によれば日本製品が軒並み70%以上の世界市場シェアを誇る「機能性化学品」も工程間の設計パラメータを微妙に最適設計しないとねらった組成のものとは出来ないという意味で「擦り合わせ化学品」とし説明がつくとしている。

本書は「ものづくり経営学」をサービス業など非製造業にも広げ概念化しているところにある。「製品とは設計情報が素材=媒体に転写されたものである」という製品観に基づき、設計情報の創造の仕方、素材(媒体)への転写の仕方が、いわゆる「統合型ものづくり」の基本課題であると「ものづくり経営学」の立場から説明している。顧客へ向う設計情報の流れが、いわゆる全ての活動たとえば開発、生産、購買、販売は全て「ものづくりの範疇」に入るとする。

本来のものづくり企業のみでなく、サービス業としてスーパー、郵便局、病院なども事例に取上げて論じている。製造業とサービス業の境界を超えた素晴らしい戦略論である。なお、アジアのものづくりについても記述している。

産業の構造変化、国際化に対応するものづくり戦略とはどういうものか?実践・研究の第一人者たちがものづくり学の可能性を描き出している。

また、巻末には多くの参考文献が紹介されている。

非常に幅広く内容が豊富でボリュームがあるので、時間をかけて読んで欲しい。



(藪野記)